

三体千字文を書く (42)

締切り 六月二十一日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

女慕貞絜

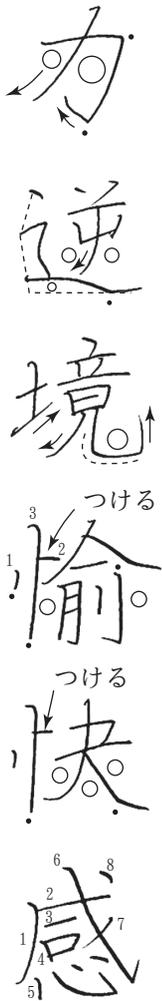
男效才良

女子は貞潔を慕って背かぬよう心掛け、男子は才能と善良を本分として行くがよい。

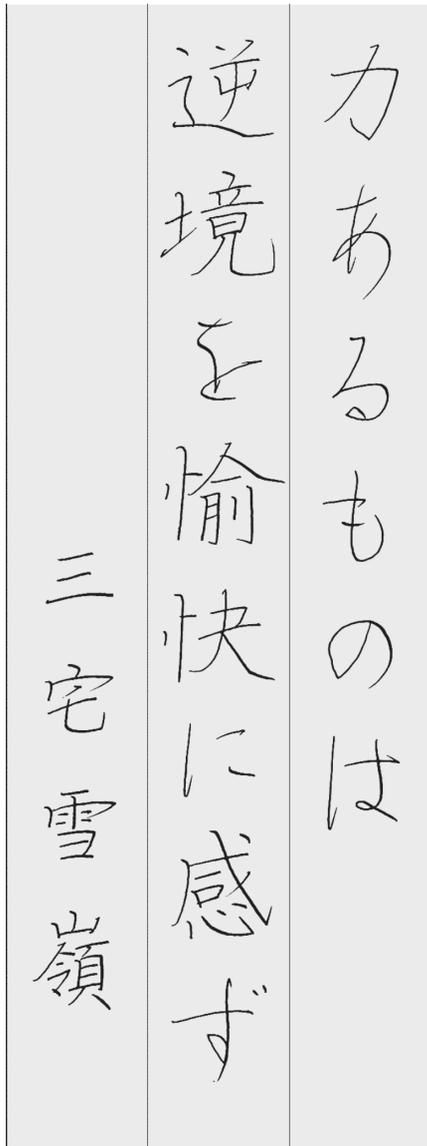
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。



新井龍峰書

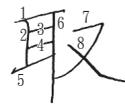
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



※楷書と行書では書き順が 違うので注意して下さい。



古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範⇨楷書
▼師範⇨行草または草書

◆7月課題予告(行書)
高貴な人物は 容易に自分の運命を 嘆くものではない

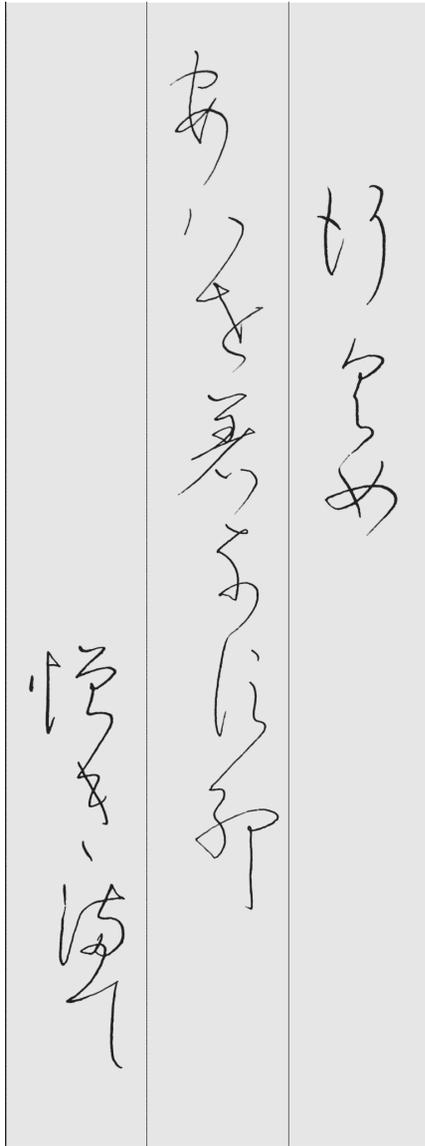
★失なわ：(書体⇨行書)
ジョン・ラスキン(一八一九-一九〇〇)
イギリスの思想家
「今」という時は、いまだけのもの
で、過ぎてしまえばどんな方法をもっ
てしても取り返すことはできない。ま
た、せつかく目の前に来たチャンスも
取り逃したら、二度と手にすることは
できない。
だからこそ常に、いまという時を大
切にし、チャンスがあればそれを生か
して、あとに悔いを残さないよう心が
けたいものである。

★力ある：(書体⇨楷書)
三宅雪嶺(一八六〇-一九四五)
評論家
古来、大きな事業をなしたげた人
は、逆境に生いたちながらいささかも
くじけず、自らの手で逆境をきりぬ
け、自らの手で大事業への道を切り開
いた人が多い。
逆境にある時、これを天の試練と考
え、心にゆとりをもってつき進みたい
ものである。

◆7月課題予告(楷書)
言うことなかれ
今日学ばずして
明日ありと

準初段から六段まで

新入から1級まで



行く女具 安八世 着なすや憎きまで奈須耶 満

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



行く女阿はせ 着なすや憎きまで尔具支 天

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

行く女 着なすや憎きまで

(炭太祇)

〔句解〕若葉の光る初夏、道ですれちがった袷姿の女は、小憎らしいまでに見事に着こなしているよ。

〔鑑賞〕〈行く女〉で、往来を小気味よい步調で歩く女性が想起され、〈着なすや〉では、衣更えころもがの季節を迎えて綿の入った冬服から袷に着がえたその女性の軽やかな身のこなし、サッパリとした袷の感触、それを心憎いほどに着こなしているさまが浮かんでくる。

〔古筆参考〕

具く 阿あ 安あ 奈な 須す
 阿阿阿阿阿 奈奈奈奈奈 須須須須須

〔解説〕「行く」の行人偏は、平行に書かないで、一画めは少し左横向きに、二画めは少し下向きに書いて下さい。

◆7月課題予告

夏河を越すうれしさよ手に草履ぞうり

(与謝蕪村)

締切り 6月21日(必着)

紫陽花の葉の上を、ゆっくりと
這う蝸牛かたむりを見つめながら、静かな
午後を過ごしています。書道展の
締切りまで残すところ約一ヶ月、
そろそろ本腰を入れ、書き込みを
しなければと念じております。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

紫陽花の葉の上を、ゆっくりと
這う蝸牛を見つめながら、静かな
午後を過ごしています。書道展の
締切りまで残すところ約一ヶ月、
そろそろ本腰を入れ、書き込みを
しなければと念じております。

横書き課題

人間の歴史は、見ようによっては
不可能を可能にする連続である。

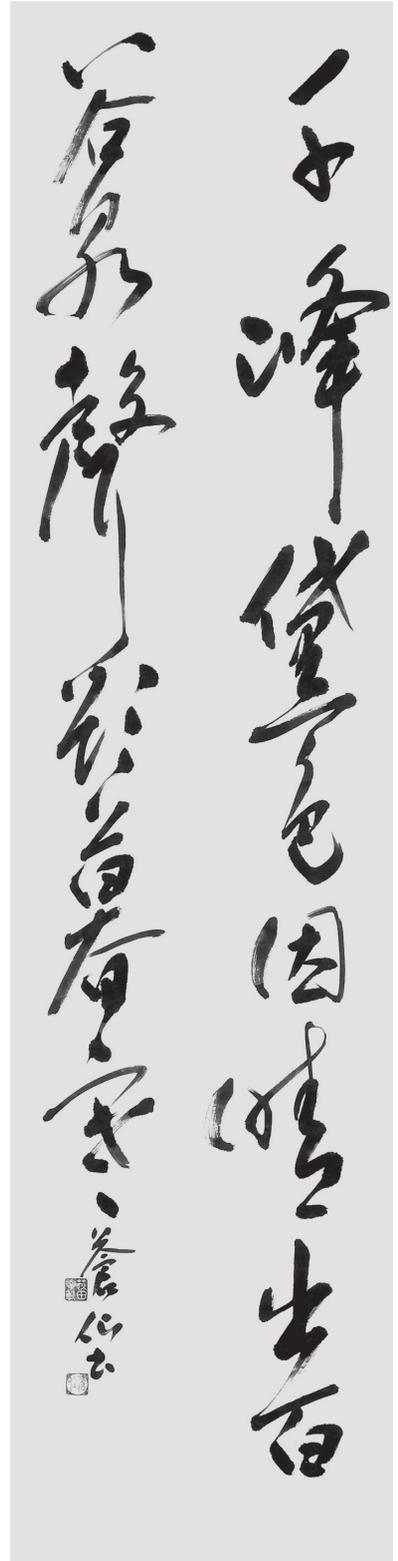
宮城県東松島市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 六月二十一日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)



萩田蒼仙先生書

千峰 黛色 因晴出

百谷 泉聲 欲暮寒

〔大意〕多くの山のふか緑の色は天気の良いためにあらわれ、多くの谷の水の音は夏の夕暮れにも寒い。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

雨に濡れた紫陽花が一際鮮やかに
咲き競うよす思わぬ梅雨寒
お風邪なども召されませぬように
くねくねもご自愛專一のほど

村山克史

書 香 梅 藤 伊

半紙 (334mm × 240mm)

※検定試験二段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕

疎密に留意しました。懐の狭い欠点を持つ私はその辺を心しました。書き吊して見る程に未熟さが目につき、枚数を重ねました。不満足であります。

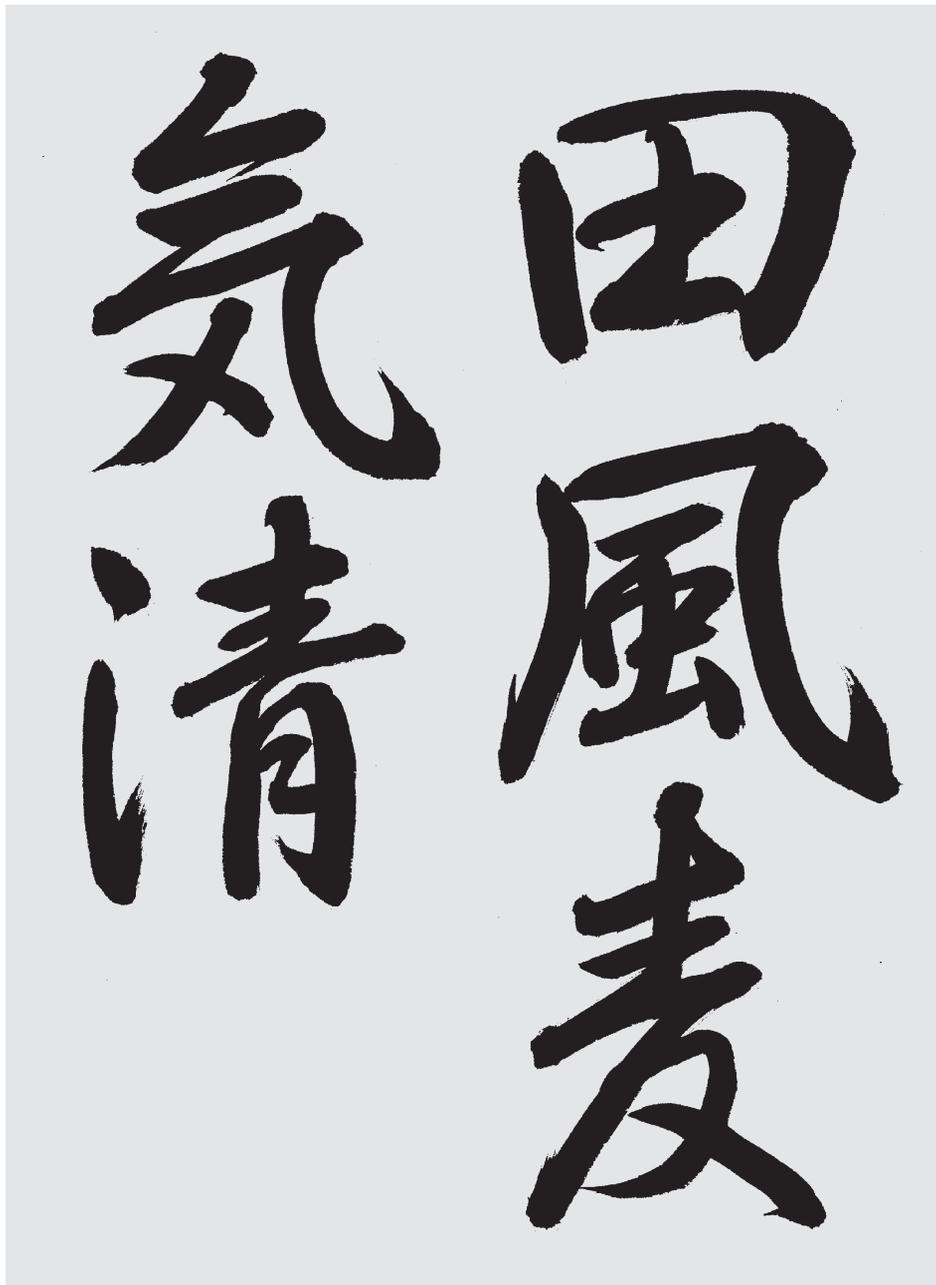
美しい線とは年季の問題ばかりでなく筆の角度、筆圧、速度等も深く関係します。

- ・雨に濡れた紫陽花が一際鮮やかに咲き競っています 思わぬ梅雨寒
- ・お風邪なども召されませぬように くれぐれもご自愛專一のほど
- ・(ご自分の氏名)
- ・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(行書)



清水翠芳書

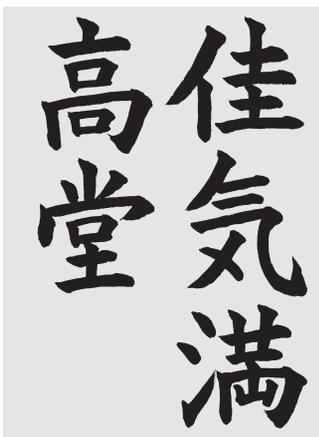
でんふうばくききよし
田風麦気清

〔大意〕郊野吹く初夏の風、熟した麦の気が清新である。

〔解説〕

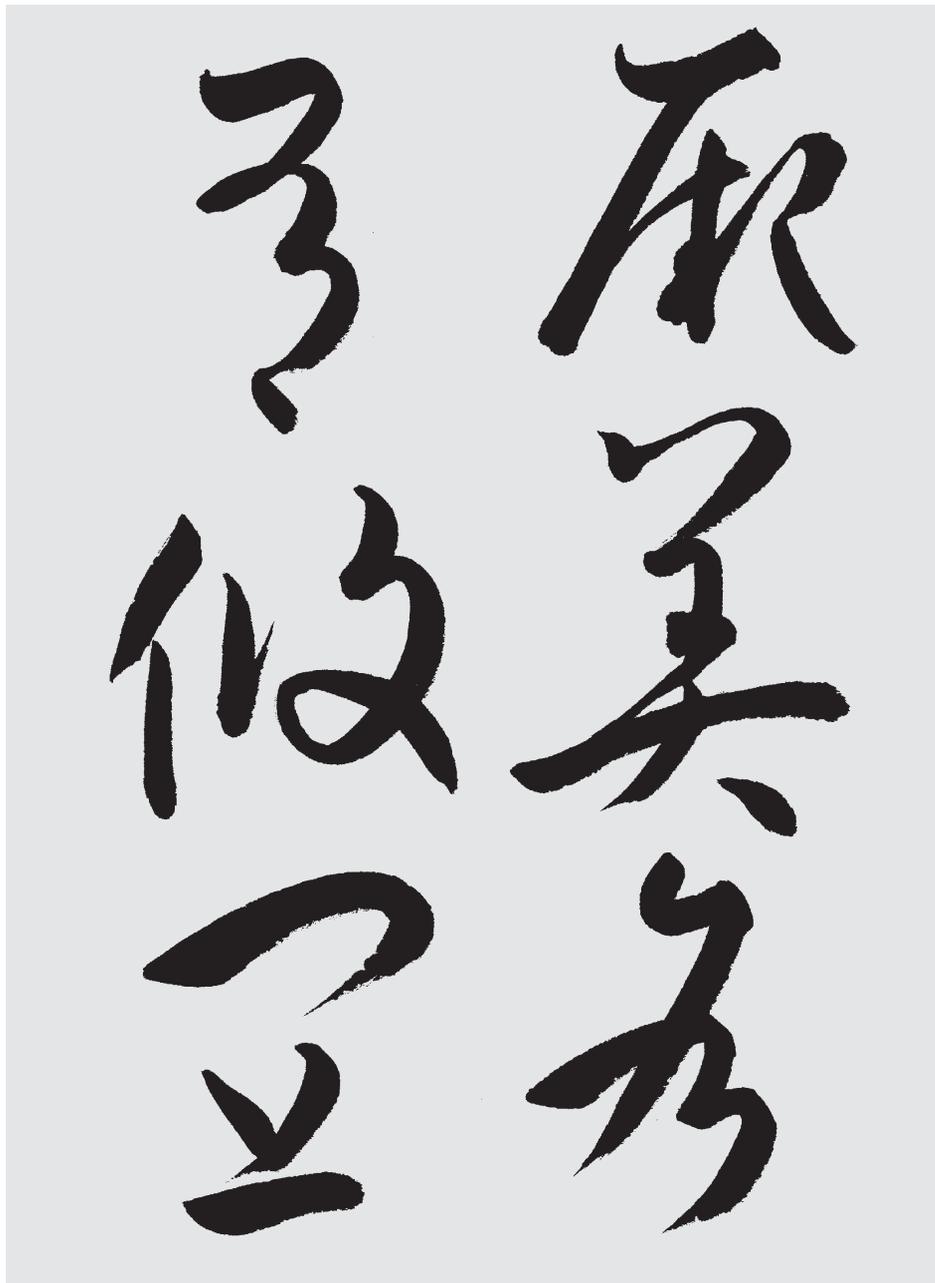


◆7月課題予告(楷書)



準初段から師範まで

須田 一葉 臨



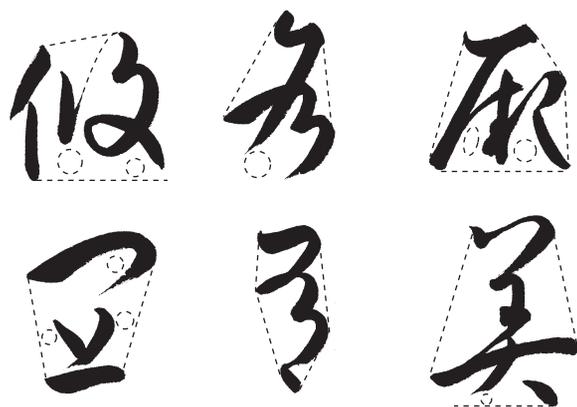
〔解説〕

〔出典〕書譜(六八七)

〔筆者〕孫過庭(六四八?~七〇三?)

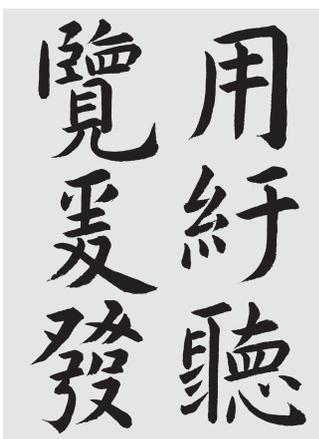
〔読み〕厥の美を(済成するに)各

おの宜しき攸有り。



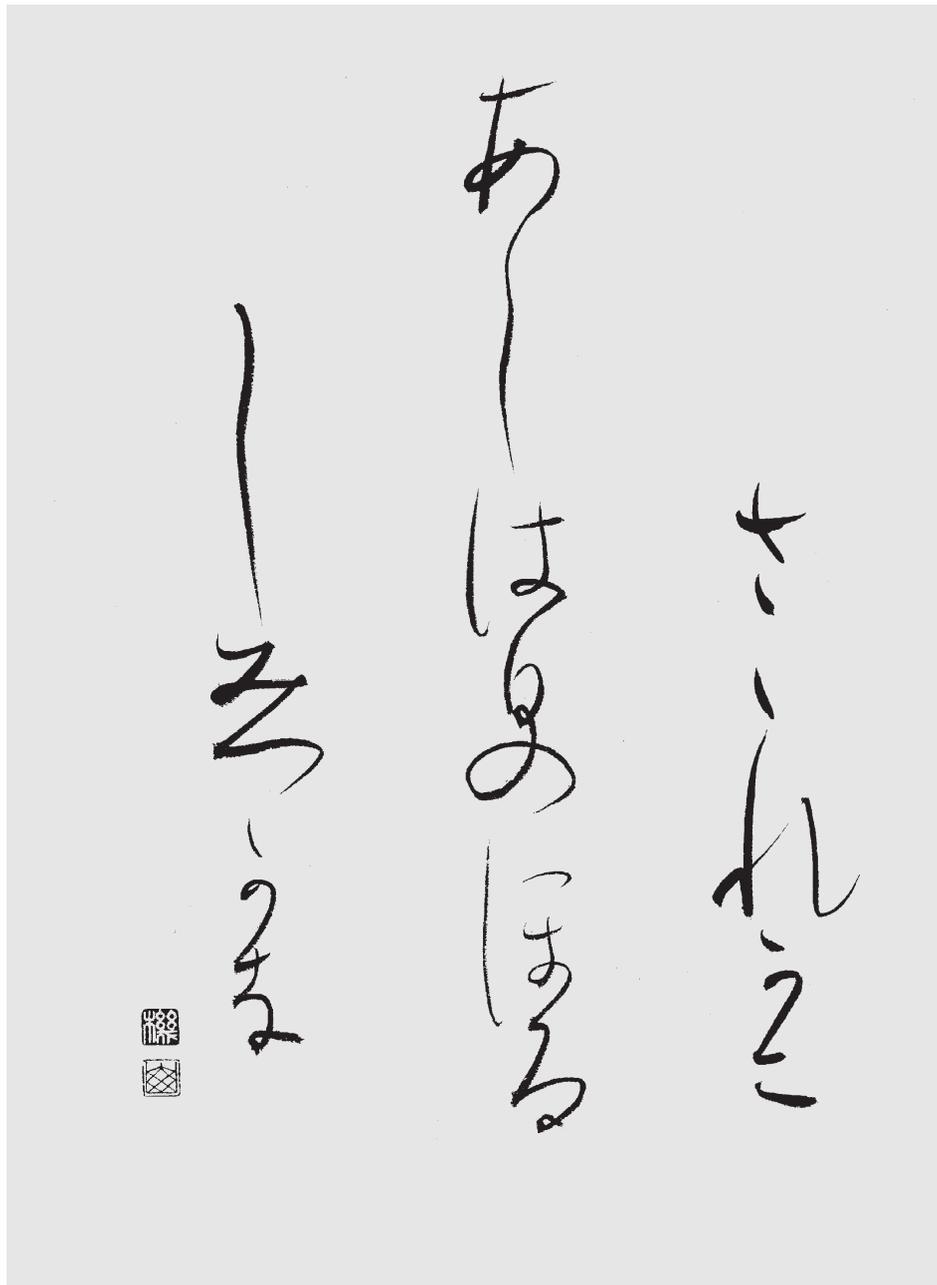
◆7月課題予告

※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



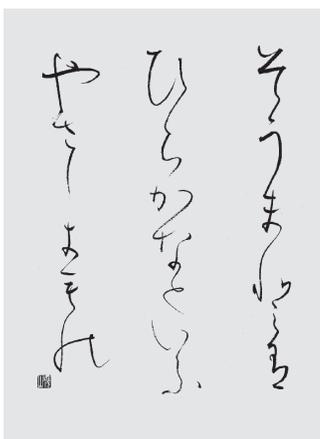
さざれ蟹足はひのほる清水哉
可二あし 日 しみつ可奈
 松尾芭蕉

〔句意〕「さざれ蟹」とは小さなかにのこと。清水に足を浸すと、小さな沢蟹が足を這いのぼってきたというのである。清涼感あふるる句。

〔古筆参考〕

可か ふうふうふう
 奈な な な な

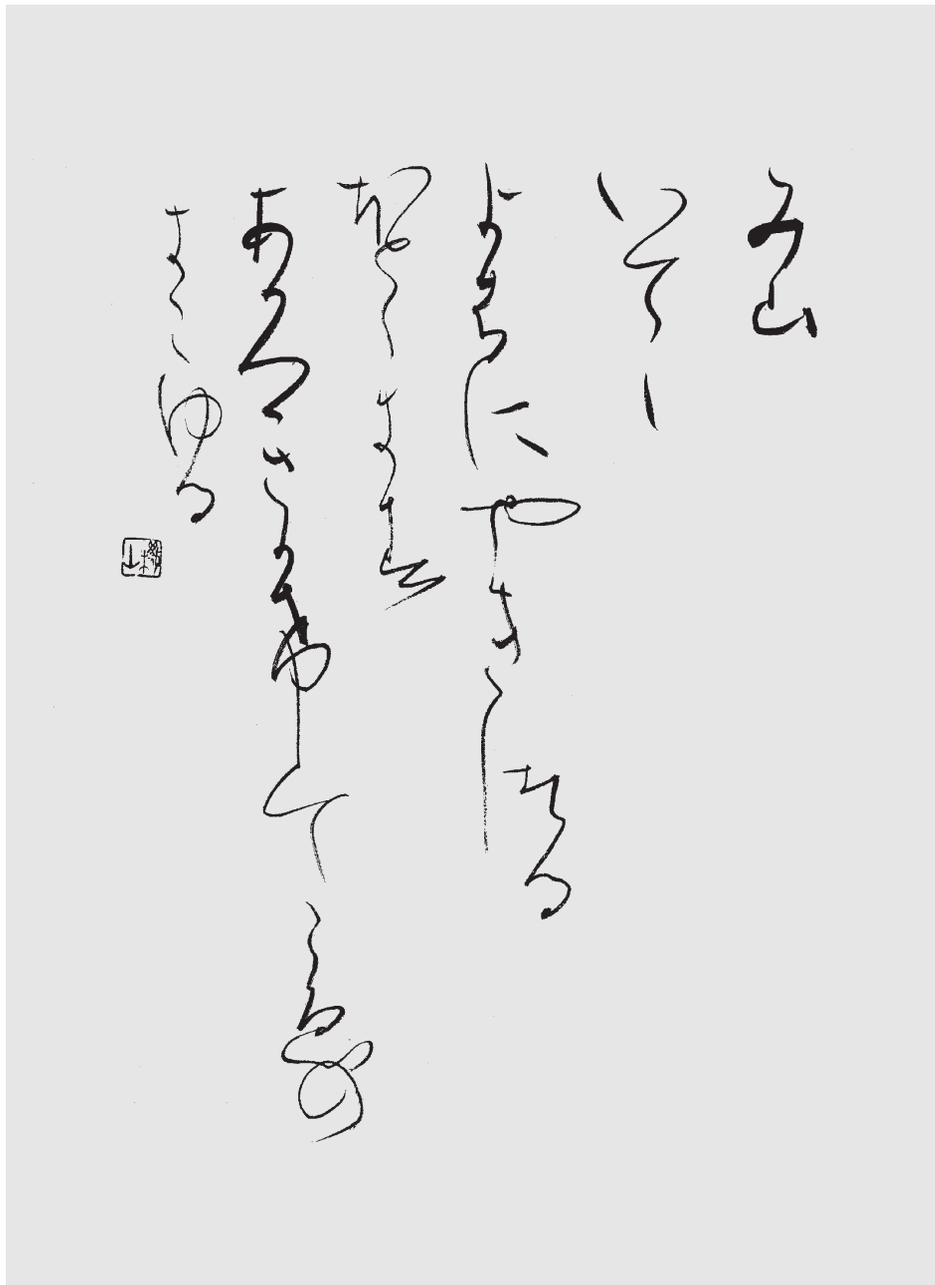
◆7月課題予告



走馬燈ひらがなといふ優しきもの

準初段から師範まで

浅井機山先生書



み山いでて夜半にや来つる時鳥

あかつきかけて声のきこゆる

平兼盛

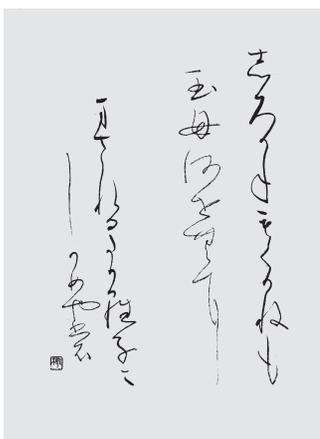
〔歌意〕

奥山を出て、夜が更けてから飛んで来たの
であろうか。ホトトギスの、明け方になっ
て鳴く声が聞こえることだ。

〔古筆参考〕

者 者 者 者 者
徒 徒 徒 徒 徒
本 本 本 本 本
支 支 支 支 支
春 春 春 春 春
希 希 希 希 希

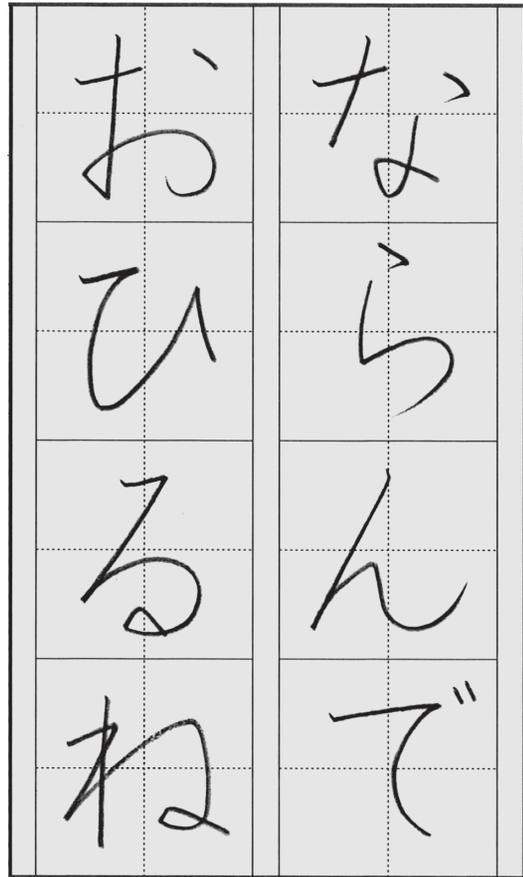
◆7月課題予告



銀も金も玉も何せむに

まさされる宝子に如かめやも

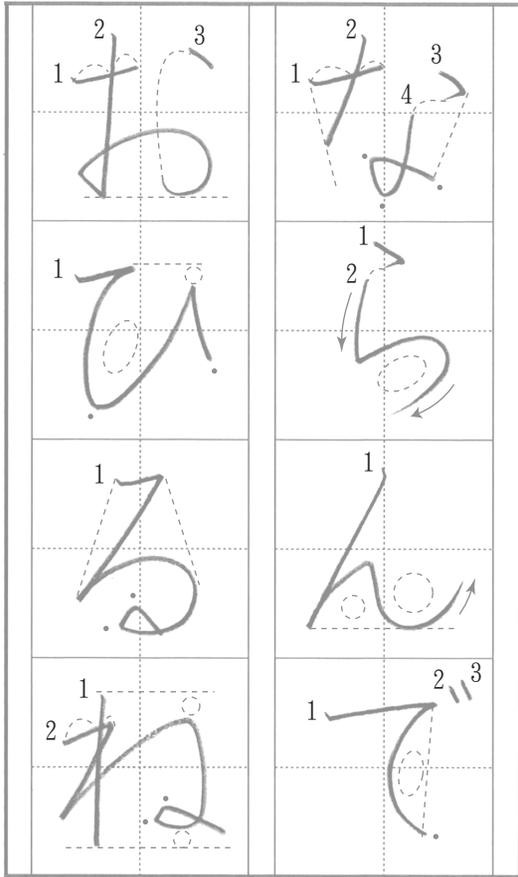
よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

〈ようぐ〉自由(黒色にかき)



小
一
年

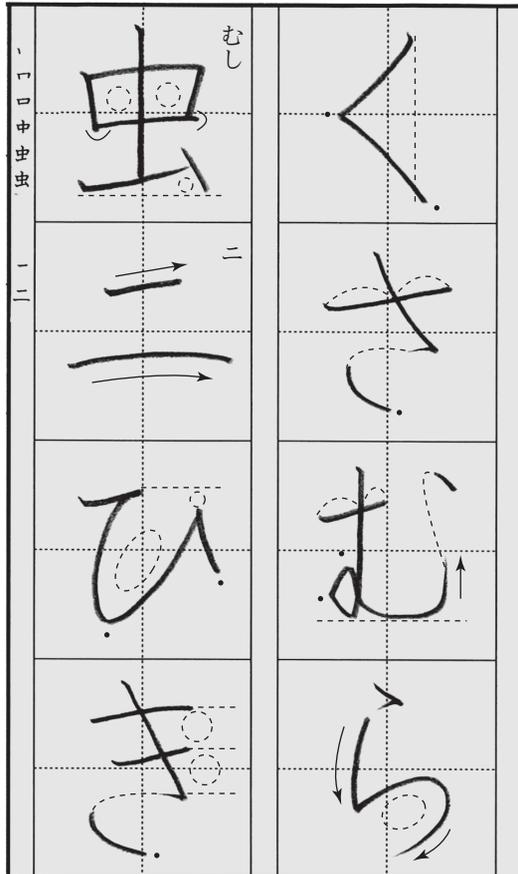


(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

え	一十	十	ジツ
ん	一十オ木本	本	ボン
び		の	
つ	ノクタ外外	色	いろ

新入〜1級

で	色	十
か	え	本
い	ん	入
た	び	り
絵	つ	の

小二年

準初段以上

外	そと	自	ジ
へ	ノクタ外外	転	テン
出	一十中出	車	シャ
る		で	

新入〜1級

へ	自	晴
出	転	れ
か	車	た
け	で	日
る	外	は

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

予	ヨ	試	シ
習	シユウ	験	ケン
す	ソ	前	まえ
る		足	

小四年

(全員)

事	高	コウ
故	速	ソク
見	道	ドウ
	路	ロ

解説(よく見て習いましょう)

小四年以上
岡嶋桂川書

一	事	高
ス	故	速
て	を	道
見	二	路
た	ユ	の

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

ノ人	たり 人	ヨウ 幼
ル 留	留	エン 園
ス 守	守	おとうと 弟
バン 番	番	ふ 番

解説(よく見て習いましょう)

※二人単語としてこのように読みます。

守	と	幼
番	二	ち
し	人	園
た	で	の
よ	留	弟

小六年

(全員)

芸	間	美
作	国	術
品	宝	館
見	の	で
る	陶	人

中二・三年

(楷書)

る	梅	南
日	雨	か
本	入	ら
列	り	順
島	す	に

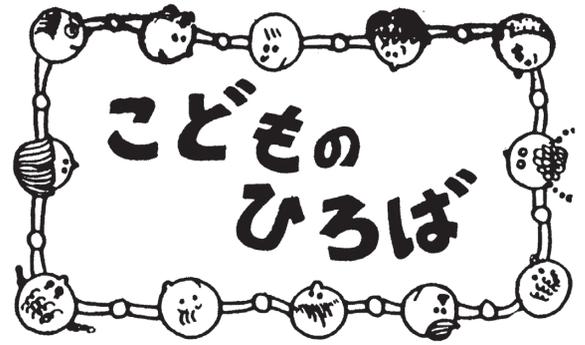
中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 まつ い せん ゆう 松 井 千 游 書

う	み	う	表 ^{おもて}	雨 ^{あめ}
れ	ん	つ	の	が
し	な	し	水 ^{みず}	上 ^あ
そ	ニ	た	た	が
う	コ	た	ま	っ
	ニ	お	り	て
	コ	顔 ^{かお}	に	

◎お手本はえんぴつ使用



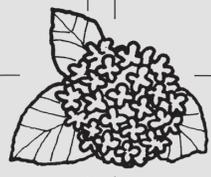
しめきり 6月21日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 うき もと こう さ 浮 本 光 紗 書

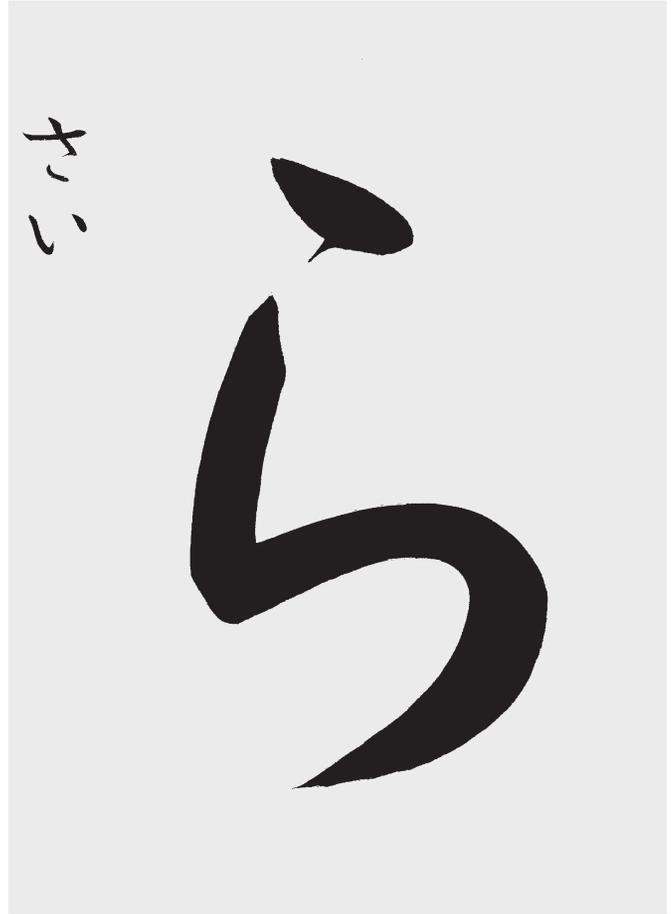
変 ^か	青 ^{あお}	い	あ	裏 ^{うら}
わ	色 ^{いろ}	つ	じ	庭 ^{にわ}
っ	か	の	さ	に
て	ら	間 ^ま	い	植 ^う
い	紫 ^{むらさき}	に	の	え
ま	色 ^{いろ}	か	花 ^{はな}	て
し	に		が	あ
た				る

◎お手本はつけペン使用



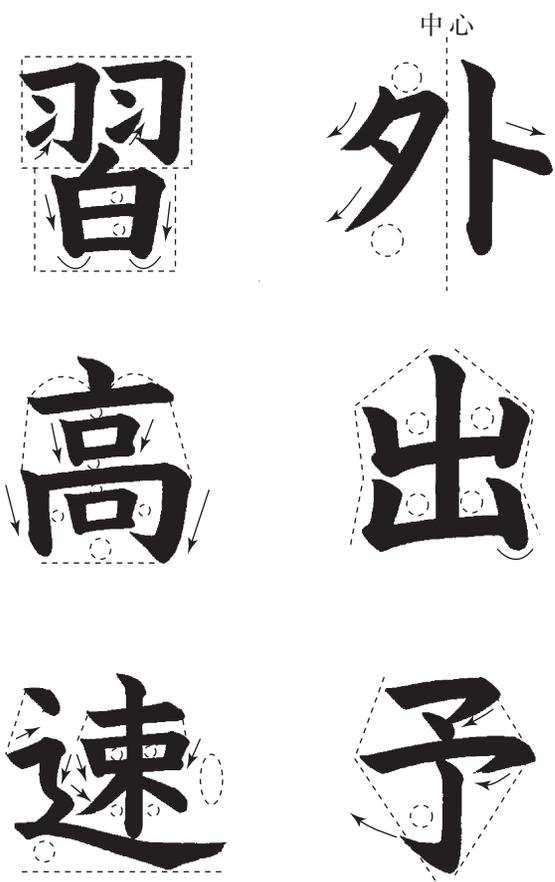
- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
酒井智仔書





小三〜小五年

水野碧友書

中二・三

人

問
宝

小六
中二・三年
永谷恵子書

留
番

小六

守

雨

留

問

番

国

梅

中一
入
梅

り
雨

第86回 毛筆検定試験受験要項

6月21日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和六年六月二十一日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和六年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字・かな …… 一、八〇〇円

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

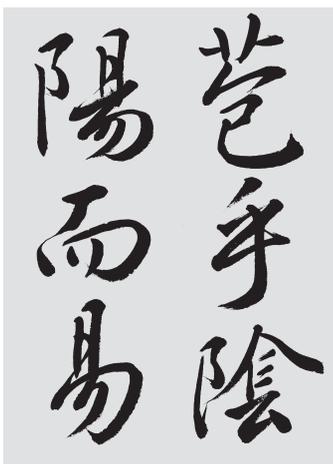
漢字半紙 …… 一、二〇〇円
漢字半紙 …… 一、四〇〇円
細字 …… 一、八〇〇円
条幅 …… 三、八〇〇円
細字 …… 二、〇〇〇円
教育部 …… 九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題	1	1	1	1	4	2,100

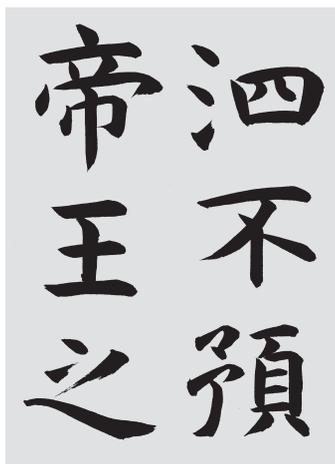
〔三段コース漢字課題〕

《集字聖教序》

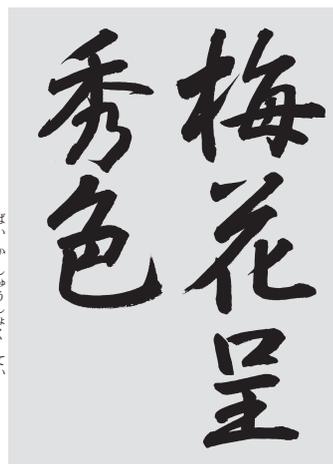


神谷葵水先生書

《孔子廟堂碑》

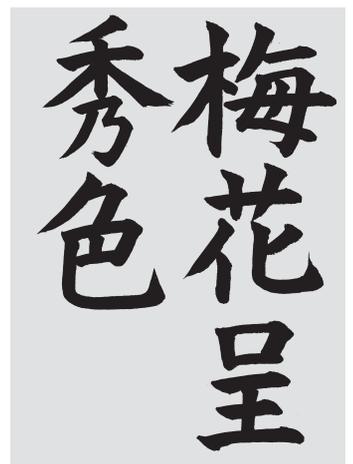


《行書》



清水翠芳書

《楷書》



コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題									1	420
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得られていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

五段・書範・教範コース課題

漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

聖固天縦以挺



▼集字聖教序

識者以其有像



▼書譜

而淳醜一遷質



かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎み山いでて夜半にや来つる時鳥
あかつきかけて声のきこゆる(平兼盛)

※9頁参照

条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

せんぼうのちようろばいうをふくみ
千峰鳥路含梅雨
ごがつのせんせいばくしゅうをおくる
五月蟬聲送麦秋

細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

日盛りは 本格的な夏を思わせる
ようになりました すがすがしい
若葉の季節 大いに英気を養い
この夏を乗り切りましょう

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小 1 ふえ

小 6 自由
貿易

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

展望

(行書)

▼六月締切りの自分の学年
の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。